

阿武隈中山間地域におけるカラーの福島県オリジナル品種 「はにかみ」の栽培実証(飯舘村)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業
小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証
研究課題名 阿武隈中山間地域におけるカラーの栽培実証（飯舘村）
担当者 佐藤優平

I 新技術の解説

1 要旨

夏期冷涼な阿武隈中山間地域では、花きを導入した農業経営が増加している。そこで新たな品目として期待できるカラーについて、福島県オリジナル品種である「はにかみ」を実証栽培した。その結果、普通栽培では7月下旬から8月中旬、抑制栽培では8月下旬から10月上旬の開花となり（図1）、どちらの作型も平均60cm以上の切り花を1球根当たり約2.5本収穫できた。

- （1）普通栽培は5月21日に、抑制栽培で7月13日に定植した。今回は平均で50gほどの開花球根を定植した。（表1、表2）。
- （2）採花本数及び花茎長は普通栽培で2.6本/球・64.6cm、抑制栽培で2.5本/球・66.2cmであり、切り花の割合は65cm規格が一番多かった（表1）。球根肥大率は普通栽培で449%、抑制栽培で159%となり、定植から掘上げまでの期間が長い普通栽培で大きかった（表2）。
- （3）「はにかみ」の球根増殖率は普通栽培で167%、抑制栽培で147%となった（表3）。

2 期待される効果

- （1）阿武隈中山間地域における福島県オリジナル品種「はにかみ」栽培の参考となり、種苗の供給が開始された場合、産地における栽培拡大が期待される。

3 活用上の留意点

- （1）条間30cm×株間40cm、2条千鳥植えで定植した。
- （2）本試験は飯舘村飯樋（標高463m）のパイプハウスで栽培し、通り農業で実施した。
- （3）球根は50℃で30分間温湯消毒をして、スターナ水和剤を散布したものを定植した。
- （4）球根は全てジベレリン溶液（50ppm）に浸漬処理した。
- （5）「はにかみ」を含めたカラーの福島県オリジナル品種は自家増殖可能である。

II 具体的データ等

作型	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
普通栽培				●	—	—	—	—	—	—	—	■									
抑制栽培										●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※●は定植、■は開花期を示す。

図1 栽培実証した「はにかみ」の栽培暦

表1 「はにかみ」の開花期および切り花品質

作型	開花期			採花本数 (本/球)	花茎長 (cm)	奇形花率 (%)	切り花長別割合(%)				
	始期	盛期	終期				80	65	50	30	規格外
普通栽培(5月定植)	7月22日	7月26日	8月13日	2.6	64.6 ± 9.2	13.5	3	46	27	11	14
抑制栽培(7月定植)	8月29日	9月12日	10月2日	2.5	66.2 ± 11.2	13.5	9	43	26	11	11

※普通栽培は5月21日、抑制栽培は7月13日に定植

※調査花の10%が開花した日を開花始期、50%開花した日を開花盛期、90%開花した日を開花終期とした。

※奇形花率は採花したうちの奇形花だった割合。

※花茎長は平均値±標準偏差であり、奇形花を除いた値。

※切り花長別割合は、80:切り花長80cm以上、65:80cm未満65cm以上、50:65cm未満50cm以上、30:50cm未満30cm以上、規格外:30cm未満と奇形花。

表2 各作型における「はにかみ」の定植前後の球根重量変化および軟腐病発生日

作型	球根重量(g)		球根肥大率 (%)	軟腐病発生日
	定植時	掘上げ時		
普通栽培(5月定植)	48.2 ± 11.0	200.2 ± 59.9	449 ± 163	22.7
抑制栽培(7月定植)	54.4 ± 12.6	92.1 ± 29.0	159 ± 61	17.3

※球根重は、平均値±標準偏差。 ※掘上げ後球根重は、水分量60%での補正值。

※肥大率は、球根一つ毎の掘上げ後球根重/定植時球根重*100の平均値±標準偏差。

※軟腐病発生日=Σ(発病指数×球根数)/(調査球根数×5)×100

※発病指数(0:無病徴、1:球根の一部に病徴有、2:球根の3割程度の病徴有、3:球根の半分程度に病徴有、4:球根の8割程度に病徴有、5:球根腐敗)

表3 球根増殖率

作型	球根増殖率 (%)
普通栽培(5月定植)	167
抑制栽培(7月定植)	147

※球根増殖率は、掘上げ後の球根総数/定植時の球根総数



図2 実証ほ場の「はにかみ」の様子

III その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和3年度

3 主な参考文献・資料

令和2年度実用化技術情報「畑地性カラー「福島1号」の育成」(福島県農業総合センター作物園芸部品種開発科)